

●推進交付金及び支援交付金とは(※)

保険者である市町村等が、**高齢者の自立支援・重度化防止**等に向けた取組を促すために、平成30年度に創設されました。取組の達成状況を評価する指標を国が定め、達成状況に応じた財政的インセンティブとして交付額が決定されるものであり、評価結果が全国に公開されています。

※保険者機能強化推進交付金は、以下「推進交付金」という。

介護保険保険者努力支援交付金は、以下「支援交付金」という。

●鶴岡市の交付金額は

①推進交付金

県内順位 2位

14,406千円

②支援交付金

県内順位 2位

27,721千円

計 42,127千円

●本市では、次のような予防に資する取組に活用する予定です。

・独居高齢者等訪問支援事業

(民生委員による見守り訪問)

2,755千円

・温泉を活用したフレイル予防事業

：藤島・櫛引・朝日(R6～)

3,999千円

・ヒアリングフレイル予防支援事業 (新規)

724千円

・転ばない生活支援事業 (新規)

1,855千円

・高齢者生活支援短期入所支援事業 (新規)

544千円

・訪問型家族介護者支援事業 (新規)

3,203千円

令和6年度 評価指標の概況と評価結果

●令和6年度分は、国による評価指標の大きな見直しがあり、4つの大きな目標が示され、これまでの自立支援に向けた取組による成果が強く求められることになりました。

	推進交付金	支援交付金	県内 13市順位
目標Ⅰ	持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	介護予防/日常生活支援を推進する	推進・支援 1位
目標Ⅱ	公正・公平な給付を行う体制を構築する	認知症総合支援を推進する	推進・支援 1位
目標Ⅲ	介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する	在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	推進 2位 支援 1位
目標Ⅳ	高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（平均要介護度の変化率）		推進・支援共通 13位 最下位

●今回の評価では、成果指標群の目標Ⅳ「高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」において、
本市は、県内13市で最も得点が低く、全市町村でもワースト5という結果になりました。

（資料4－2のP15参照）

目標Ⅳ.「高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」の結果概要

		鶴岡市	県平均	満点
iii -1	軽度（要介護1～2）の ア. 平均要介護度の短期的な変化率 R4年1月からR5年1月の1年間 イ. 平均要介護度の短期定な変化率の差 R4年1月からR5年1月の1年間と R3年1月からR4年1月の1年間	0	24.9	40
iii -2	軽度（要介護1～2）の 平均要介護度の長期的な変化率 R元年1月からR5年1月の4年間	10	12.9	40
iii -3	中重度（要介護3～5）の ア. 平均要介護度の短期的な変化率 R4年1月からR5年1月の1年間 イ. 平均要介護度の短期定な変化率の差 R4年1月からR5年1月の1年間と R3年1月からR4年1月の4年間	20	21.4	40
iii -4	中重度（要介護3～5）の 平均要介護度の長期的な変化率 R元年1月からR5年1月の4年間	20	19.4	40
iii -5	健康寿命の延伸の実現状況要介護2以上の 認定率、認定率の変化率の状況 令和5年1月の認定率 R4年1月からR5年1月の1年間の変化率	10	21.1	40
	合計	60	99.7	200
	鶴岡市は県内の市で 県内全市町村で	ワースト 1 ワースト 5		

この集計は、毎月、国に提出している月報から各対象者のレセプトデータと認定データを突合し、国が集計した結果によるものです。

鶴岡市は、総合得点や他の目標では県内でも高い得点を取っていますが、アウトカム（成果）指標が低い状況です。

平均要介護度の変化率で評価された、目標Ⅳ「高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」の得点がとても低く、介護保険の理念である自立支援・重度化防止につながっていないという結果になりました。



- ★軽度の要介護認定者の状況が改善せず悪化している。
- ★要介護2以上の方が多い。



自立支援（自分でできるように）や介護状態の軽減・悪化防止のための支援を強化する必要があります。

【例】

- ・市民や事業所等の意識啓発
- ・自立・重度化防止を目指すケアプランへ改善
- ・運動やリハビリ等効果的なサービスの提供
- ・地域資源や介護保険以外のサービスの活用促進 等

【意見表】 ●会議当日、各委員のご意見を伺いますので、よろしくお願いします。

(資料4－2 15ページの棒グラフをご参照ください。)

※当日回収させていただきます

委員ご氏名 _____

●本市の成果指標群が県内13市で最下位であった結果を重く受け止め、危機感を持って改善に取り組む必要があると考えています。

- ①鶴岡市の要介護認定者の状態が改善せず、悪化傾向にあるのは、どのような原因が考えられますか。
- ②国の指標では要介護1までを健康寿命の境界としており、「軽度要介護度1～2の1年間の要介護度の変化率」の得点が0点でした。行政・サービス提供事業所・専門職・住民等がそれぞれの立場でどう取り組めば良いと思いますか。